

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福岡県・北九州市 】

学校名【 北九州市立南曾根中学校 】

1 実践テーマ	㉠・II・III・㉡・㉢(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全学年全クラス(1年3クラス82名、2年4クラス(特別支援1含む)102名、3年3クラス95名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(○) ② 行事名(○) ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	スポーツを呼びオリンピック、パラリンピックの意義を学ぶと共に、参加する世界の国々の理解、日本の伝統や文化の発信、オリンピック・パラリンピック種目を調査し体験する。
5 取組内容	1年：班ごとに、オリンピック・パラリンピックに参加した国について、有名な選手やその競技の紹介、その国の公用語、日本と違う食文化などを調べ、班で新聞を制作した。 2年：日本文化や伝統などを世界に向けて発信する掲示を制作。オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、競技をOVERP学習用ワークシートや日本オリンピック協会の「クイズ オリンピック・ムーブメント」を利用し学習。オリ・パラ推進講演会を企画し、パラリンピックアスリートの小宮正江氏を講師として招き、ゴールボール体験と生き方講演を行った。 3年：オリンピック・パラリンピック調べ学習。1年次の保健体育科の学習で、オリンピック種目を学習した。この内1つについて調べたことを基に、3年ではオリ・パラ全種目について分担して調べ直した。まとめ方としては、タブレットを利用し情報収集を行い、まとめたものを紙に記し、文化発表週間に展示した。

	
<p>6 主な成果</p>	<p>1年：いろいろな国について文化について知ることができた。これまであまり馴染みのなかった種目についても知ることができた。</p> <p>2年：事前学習により生徒のオリンピック・パラリンピックの興味関心が高まった。10月中旬に実施した講演会でも、意欲的な態度で臨み積極的な体験活動をできた様子が感想に現れていた。</p> <p>3年：2020東京オリンピック・パラリンピック開催にあたって、それまでの事前学習により、興味・関心を高めることができ、スポーツの楽しさ・素晴らしさと共生の精神を学ぶきっかけとなった。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>特になし</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>新型コロナウイルス拡大防止処置が取られる中、集団の作業にいろいろな制限が加わり、取組に時間をかけにくい状況であった。調査内容をタブレットなどの情報機器を使用して発表する予定も、制約の中、掲示発表のみになった。緊急事態宣言下でもできるICT機器を使った発表予定や取組の実践事案を報告していただくと、感染が起こった場合の学校でも有り難いです。</p> <p>また、オリンピックやパラリンピックの紹介をする場合に利用できる、公的なネット動画をダウンロードして利用可能しやすいようにしていただくと助かります。</p> <p>オリンピックだけでなくパラリンピックも、これまでになく、様々な情報が視聴できることで、楽しみながら学習する効果が上がっていた。さらに、事後学習として、振り返り学習に活かせる総集編の動画と資料を協力校全校に配布があると助かります。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今回の本校でまとめた資料や報告をデータとして保管し、次のオリンピック・パラリンピックに合わせ、必要に応じて再び掲示をしたり、講演会の様子を紹介したりする。学習プログラムも今後ある別のオリンピックに置き換え、次はホストではなく参加するゲストの立場で国際協調・国際理解についての学習に備えたい。</p>